



発行・荒川区体育協会 (荒川区荒川2-2-3 荒川区教育委員会社会体育課内)

発行責任者・高田忠則

## 総合型地域スポーツクラブ開設への道のり

体育協会理事長 高田 忠則

2年目を迎える生涯スポーツフェスティバルの企画委員会このままイベントだけで終わらせるのではなく、体育協会として何らかの事業、継続事業を起こせないか。このフェスティバルを財産として残せないかを協議したところ、体育指導委員会の小山会長より総合型地域スポーツクラブの提案がありました。何度か説明を受けたが十分に理解が出来ず、それでは理解するための行動をしようと、二宮清純氏の講演会と既設地域型スポーツクラブの視察会を企画しました。二宮氏は文部科学省が総合型地域スポーツクラブを唱えるときの有識者の一員でした。

二宮氏は講演の中で、今後の私たちの役割はスポーツ人口の裾野を広げることにより世界に通用するアスリートを輩出すること、また競技ばかりでなく地域内のコミュニケーションの活性化、心身、体力、健康の増進を図ることにあり、それが総合型地域スポーツクラブの理念であると言われました。

また日本体育協会ではだれでも、いつでも、どこでもいつまでもスポーツを楽しむことができ、地域の日常的なスポーツの場として、子どもから大人まで、また、高齢者や障害者を含めすべての人が参加でき、地域住民自ら主体となって運営する新しい形のスポーツクラブと定義づけています。

昨年2月に柏市の高田スポーツクラブと習志野市のベイサイドスポーツクラブを視察し、その成功例を聞き、体育協会としても広くアスリートの育成、指導ができる環境と地域コミュニケーションの拡大につながる事が理解でき、それなら今一番町が変

化している汐入地区に作る事が適しているとの意見があり、検討に入ることになりました。

昨年の視察会は実行委員が中心でしたが、2回目の視察会は多くの地域の方に参加していただき、総合型スポーツクラブの意味するものを感じてもらい、終了後の懇談会では地域の方からは是非実現したいとの多くの意見が出てきました。しかしこれは未だ入り口にしか過ぎません。会場施設の利用方法交渉、会費の金額設定、既存のクラブとの調整、指導者の発掘、実施競技及び教室の科目整理と問題は山積です。

こうした問題を解決するために現在地域ミーティングと称し、皆さんで何をしたいか話し合いを始めました。これがかっかけに関心のある方、理解のある方を増やし、更には行政の協力を得て総合型地域スポーツクラブを実現したいと行動しています。汐入地区での成功は荒川区全体への道筋であり、荒川区の基本構想にある区民が健康である幸せにつながるものであります。またそれは荒川区体育協会にとっても将来の財産作りとなるものと信じております。

これからもご協力のほど宜しくお願いします。



# 区政施行75周年記念・第16回荒川リバーサイドマラソン

開催	11月11日	荒川河川敷					
特別ゲスト	元オリンピック、マラソン代表「瀬古 利彦」さん						
当日参加人数	2キロ	485名	3キロ	213名			
	5キロ	195名	10キロ	241名	合計	1,195名	
記録	3キロ・小学男子	優勝	芳賀 有哉	女子	優勝	西田 樹乃	
	5キロ・中学男子	優勝	菅谷 優樹	女子	優勝	皆川 菜裕子	
	5キロ・一般男子	優勝	小林 和彦	女子	優勝	嶋崎 可納	
	10キロ・一般男子	39歳以下	優勝	市原 篤男			
	10キロ・一般男子	40歳以上	優勝	萬羽 仁			
	10キロ・一般女子	15歳以上	優勝	谷 万里子			



## 「瀬古 利彦」さんと、鈴木茂雄 陸連会長、高田体育協会 理事長の、インタビューの概要

- 司 会** 前日の雨の影響で全体的に足元がぬかるみ参加者の受付、ゴール等で苦勞したようです。
- 高田理事長** 今回はありがとうございました。今までは千人を越えなかったですが初めて1,000人を越えた模様、最終的に3,000人を目指します。
- 瀬古利彦さん** 場所的には広いし可能では、ただ余りにもトイレ数が少ないし、雨の時テントの数も少なすぎ参加者には失礼に当たると思います。
- 鈴木 会長** 3,000人規模にするには、プログラムも冊子にするなどの配慮が必要。その為にはスポンサーを付けるなど予算をどうするか検討する事が必要です。
- 瀬古利彦さん** 10キロを公認記録にしてはどうか。公認記録を残すのも参加者が増える一歩。
- 鈴木 会長** 正式な測定を完全にしてやれば公認も可能ですから、ぜひやって見たいです。
- 瀬古利彦さん** ハーフマラソンをやれば3,000人も可能。ただ2キロは小学生の為に出来る限り残した方がいい。小学生までは3キロまでがいい。中学生以上が5キロ以上で将来的にはハーフマラソンまで出来ればいい。
- 司 会** 来年度の生涯スポーツフェスティバルの中で講演会を北京オリンピック終了後、リバーサイドマラソンの前においでいただくようお願いしました。



## 荒川の武道紹介パート2

### 荒川区居合道連盟

体協加盟団体25中いわゆる武道は7団体、その中でも昭和47年の加盟は当連盟が最も新参です。「居合道」霊器日本刀を駆使して演武する雄姿は正に「武士道」そのものです。

数ある流派の中でも荒川の主流は「夢想神傳流」であり、初伝・中伝・奥伝とあり、その型は50種以上あります。更に全日本剣道連盟制定居合、相手と組んで行う組太刀等数多くの技があり実に奥の深い武道です。

高齢化社会の今日、新しく何かを求めている方には年齢に関係なく体力づくりが出来る実に合理的な武道です。平成6年には東京都女子居合道大会も開始され女性の愛好者も徐々に増えつつあります。年に2回の段位審査、区、城北五区、東京、関東甲信越等の大会があります。

稽古は月、水、木、金(月2回)あり、入会は随時可。日本人なら一度は「サムライ」になった気分で日本刀を振ってみたいとは思いませんか……



### 荒川区弓道連盟

「弓道」は、古来の武道、スポーツです。弓道は、他の競技と多少異なり、相手は人でなく「的」であり、一人で楽しむことが出来ます。素材で親しみやすく、少年から年配の方まで、年齢や、男女を問わず、各々自分の体力に応じた強さの弓を使い、過激すぎることなく、晴雨に係わらず練習時間も自由に調整することが可能な、誰にも出来る武道、スポーツです。静止不動的に対して、当り、外れ、射行としての成功、失敗と一本一本を味わいながら楽しんで、興味の尽きないのが弓道です。正しい姿勢で、正しい射、「礼に始まり、礼に終る」「体配(行射に際しての礼、作法)」「射法(射法八節)」など一定のきまりに従い修練を行います。正確な中、自分と弓とそして的の三者が一体となって冷静に果敢に射放つ、当らなければ、それはすべて自分に起因す

るその原因を求め、反省をする。精神面での修練にも大きくプラスするところでもあります。

荒川区には都弓道連盟第一地区荒川支部、司正会支部の2団体があり、荒川支部は、荒川総合スポーツセンター弓道場、司正会支部は、都武道館弓道場で修練を重ねております。スポーツセンターでは金曜日夜間弓道教室を開催しております。弓道を始めてみませんか。ご連絡をお待ちしております。

荒川区弓道連盟 柿沼 3803-6968

### 荒川区空手道連盟

荒川区空手道連盟は、昭和30年に発足以来53周年になります。先代の会長以来、現会長も空手道指導者の養成には力を入れられ、日本体育協会の公認指導者資格を取得のため励んで参りました。現在まで地域スポーツ指導員、上級スポーツ指導員、競技力向上のためのコーチ、上級コーチと多くの公認資格者を有しております。空手道本来の指導方法とあわせて、スポーツ医学・科学的基礎に立脚した適切なスポーツ指導(空手道)が出来ることを目指しております。

「文科省の公認指導者制度の狙いは(国民皆スポーツ運動)を展開し、生涯スポーツを実践するには、早い時期に子供にスポーツの楽しさを教えることが必要です」とあります。

空手道指導も小学校、或いは地域スポーツの現場で児童に楽しい空手、魅力ある空手道指導を展開していくことが必要です。

更に地域のスポーツ行政との密接な関係を保ち、より活発な活動が行なわれるよう努力いたしております。

当連盟では毎年300名前後の会員登録があり、その7～8割が児童です。大切なお子様を、将来は立派に地域社会を任す事の出来るように、「礼と節」を限られた中ではありますが伝える事が我々の責務であると日々考えて実践しております。先日の「武道を全部見せるぞ!」の演武の時の写真を掲載いたします。



# 体育大会・開会式 体育功労者・優秀選手・施設表彰

## 平成19年度・体育協会体育功労者

陸上競技協会・海老沼 保和さん      バレーボール協会・向殿 鏡子さん  
 居合道連盟・池松 和夫さん



## 平成19年度・体育協会優秀選手

ソフトテニス連盟・宮野 直子さん      弓道連盟・須藤 洋平さん  
 合気道連盟・中村 茂美さん      スキー連盟・鹿又 善信さん  
 水泳連盟・小林 義明さん      バレーボール協会・安野 由紀江さん  
 バトミントン協会・金井 正彦さん      釣魚連合会・奥野 英志さん



## 平成19年度・体育協会施設表彰

合気道連盟・荒川合気会 光道場      代表者 酒井 光雄さん



# テーピング講習会

9月22日に荒川スポーツセンターで理論編が行われ、11月24日(土)荒川区立第五中学校体育館で実技が行われました。

荒川区接骨師会の諸先生においでいただき、スライドによる説明の後、4グループ分けて行われた。

2～3人の先生が直接指導で実技を行いテーピングの巻き方などを細かく指導を受け良く理解出来た。実技の後、質問にも答えていただき、医療情報の提供も受け大変有意義でした。

区体協会員以外の方々とも交流をもて有意義な2時間を過ごしました。



# 生涯スポーツフェスティバル2007

みんな集まれ楽々ニュースポーツ

9月17日

荒川区総合スポーツセンター 163名参加

鴨川市の国際武道大学キンボールチームの協力により、参加者に迫力あるデモンストレーションをご覧いただけとても有意義だった。



## 親子で体カアップ・ウォークラリー&スポーツイベント



12月2日 荒川区総合スポーツセンター&荒川自然公園  
58組203名参加

親子で体カアップ、ウォークラリー&スポーツイベントが行われました。

ウォークラリーと体カアップと一見ちがうような2種類のイベントは参加者も大忙しながら大変楽しんでもらえたと思います。

ポイント加算方式での表彰式では、ドキドキしながらも上位のチームの方々にはささやかなプレゼントもありました。

コメント 小田 薫

## 第56回東京都八ヶ岳釣選手権大会

9月13日 千葉県・木更津市周辺 28団体 264名参加

団体優勝	荒川区	個人優勝	窪田 勇さん
役員	小野 唯雄	竹田 正	
選手	窪田 勇	富澤 敬治	中尾 義弘
	野沢 桂次	塚越 章	高木 昌二



# 平成20年 体育協会新年会

2月7日 ホテルラングウッド 42名参加

出席者	名誉会長・荒川区長	西川 太一郎様	相談役	小野澤 幸雄様
	監 事・区議会議員	北城 貞治様	監 事	中崎 節子様
	会 長	藤岡 董之		

昨年に引き続き、理事、評議員を含めた新年会が盛大に行われた。病気療養中の、藤岡会長も元気に姿を見せ、皆喜びをかみ締めていた。又、今回初めてカラオケを導入し参加者がのどを披露し合っていた。



# 武道を全部見せるぞ

10月7日 荒川区総合スポーツセンター 350名参加

体育協会、加盟団体7団体が昨年に続き一同に介し妙技を披露した。



合気道連盟



居合道連盟



弓道連盟



空手道連盟



剣道連盟



柔道連盟



少林寺拳法連盟

### 編集後記

総合型地域スポーツクラブ開設の為、体育協会全体としてどんな事が出来るのか視察を繰り返し、早い段階での開設を目指して今後もご協力をお願いいたします。又、原稿依頼にたいしてご協力いただき有難うございました。御礼申し上げます。(トトロ)